

2023年7月10日

各位

プロパティデータバンク株式会社
(コード番号：4389 東証グロース)

プロパティデータバンクの不動産文書管理 BPO 事業 株式会社 KJR マネジメントで導入決定

プロパティデータバンク株式会社（代表取締役社長：武野 貞久、本社：東京都港区、以下、当社）は、成長ドライバーの一つとして位置付けている不動産文書管理 BPO*事業において、この度、株式会社 KJR マネジメント（代表取締役社長：鈴木 直樹、本社：東京都千代田区）にて導入することが決定いたしました。

尚、本事業については、当社がフロー設計などのコンサルティング部分を担当し、グループ会社であるプロパティデータテクノス株式会社（代表取締役社長：糸賀一穂、本社：東京都港区、以下 PDT 社）にて実務を行います。

導入の背景

株式会社 KJR マネジメントにおいては、AUM*拡大に伴い、書類回収業務をはじめ、部門間での業務重複など、不動産文書管理に係る業務コストも比例して増加しており、その対応が課題となっております。本業務について、当社の不動産文書管理 BPO 事業を導入することで、業務フローの設計から実際の管理業務まで一貫して外注することにより、ローコストオペレーションが可能になります。

不動産文書管理 BPO 事業の特徴

当社グループの目指す「不動産 WHOLE LIFE」の一翼を支える機能として、不動産に係る膨大な書類の管理や相手先とのやり取りに関する工数を削減し、かつ高度なセキュリティ下でドキュメントの電子化・管理を行うことで、不動産文書管理の DX*を実現します。

1. ドキュメントの管理に関する業務フロー設計・コンサルティング
2. 分類体系の整理とドキュメントの電子化、クラウド環境での保管
3. 物件検討段階から物件情報を整理し、デューデリジェンス業務のサポートを行う
4. PM 会社からの報告書類の管理・催促などのマネジメント業務

*BPO (Business Process Outsourcing) 業務委託 *AUM (Asset Under Management) 資産運用残高

*DX (Digital Transformation) AI や IoT などの先端的なデジタル技術の活用を通じて、デジタル化が進む高度な将来市場においても新たな付加価値を生み出せるよう従来のビジネスや組織を変革すること

【本件のお問い合わせ先】

東京都港区浜松町 1 丁目 3 0 番 5 号 浜松町スクエア (受付 6 F)

プロパティデータバンク株式会社 担当：西山

電話番号：03-5777-4651 Email：s-nishiyama@propertydbk.com

※ご参考

【株式会社 KJR マネジメント】 <https://www.kjrm.co.jp/index.html>

- 代表者： 鈴木 直樹
- 設 立： 2000 年 11 月
- 所在地： 東京都千代田区丸の内二丁目 7 番 3 号 東京ビルディング
大阪府大阪市北区大深町 4-20 グランフロント大阪 タワーA 27 階
- 資本金： 500,000 千円
- 事業内容：

世界最大級のオルタナティブ資産運用会社である KKR グループの一員であり、日本都市ファンド投資法人（JMF）と産業ファンド投資法人（IIF）の資産運用会社です。

【プロパティデータバンク株式会社 会社概要】 <https://corp.propertydbk.com/>

- 代表者： 代表取締役会長 板谷 敏正
代表取締役社長 武野 貞久
- 設 立： 2000 年 10 月 2 日
- 所在地： 本社 東京都港区浜松町一丁目 30 番 5 号 浜松町スクエア（受付 6F）
大阪 大阪市中央区北久宝寺町四丁目 4 の 7 VPO 本町セントラル
- 資本金： 332,715 千円
- 事業内容：

不動産に関する様々な業務を効率化する「B to B の不動産テック企業」です。2000 年 10 月の創業以来、不動産・施設等の運用管理等に特化した統合資産管理クラウドサービス「@プロパティ」の提供を主力事業と位置付け、市場を開拓・拡大して参りました。

「@プロパティ」は、不動産・施設の運用管理における業務効率改善、資産価値向上のためのクラウドサービスであり、お客様のリアルタイム経営戦略をサポートします。

【プロパティデータテクノス株式会社 会社概要】 <https://propertydbtech.com/>

- 代表者： 代表取締役社長 糸賀一穂
- 設 立： 1957 年 3 月
- 所在地： 東京都港区芝大門 2-12-9 HF 浜松町ビルディング 4 階
- 資本金： 10,000 千円
- 事業内容：

不動産関係の文書管理を 10 年以上にわたり手掛けており、AM*・PM 業務を研究、進化してきたノウハウを基にした文書管理ソリューション、電子化ソリューションをご提供しています。

*AM (Asset management) 投資目的での不動産形成や運用、保全を行う業務
